

国立大学法人 長岡技術科学大学
平成28年度第2回経営協議会議事要旨

日 時 平成28年6月7日（火）14時00分～16時30分
場 所 ホテルニューオータニ長岡（うめ）
出席者 東議長、天羽委員、大貝委員、岡田委員、五味委員、関委員、谷口委員、鎌土委員、三上委員、横山委員、小松委員、中出委員、大石委員（議事の表決委任による出席
池田委員、岸委員、合田委員、森委員）
陪席者 齋藤監事、滝上監事、福田附属図書館長
事務局 総務部長、学長戦略課長、総務課長、財務課長、施設課長、総務課課長補佐、財務課課長補佐、施設課課長補佐、学長戦略課企画・評価係長、総務課総務係長、財務課予算係長、総務課総務係員、財務課予算係員

議事に先立ち、東議長から平成28年度第1回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について

鎌土委員から、資料1に基づき説明があった。

また、本報告書については6月30日までに文部科学省へ提出するため、それまでに修正、追記事項等が生じた場合は、学長に一任願いたい旨の説明が併せてあり、これを了承した上で審議の結果、本件を承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。

○職員の英語力向上等の取り組みを実施されているが、これにより成果をあげた職員が活躍できる場を作ることが重要である。

○グローバル化を推進していくにあたり、外国人教員の雇用等による学内の教員の国際化も重要ではないか。

●スーパーグローバル事業で教員の外国人比率を増やす取り組みを行っており、東南アジア、中南米の大学等とクロスポイントメント制度を活用し、推進していく予定である。

○コンプライアンスは組織にとって重要事項であるため、教職員へ徹底させることが重要であ

る。どのような対応を行っているか。

●教職員の法令、学内規則、社会規範の遵守を徹底するため、コンプライアンス基本規則を定め周知を行った。また、CITI Japanプログラムの利用、説明会や講習会の実施し及びこれらの参加者の把握を行うとともに、説明会等についてはこれを録画し、動画配信を行う等、参加できなかった者を含めて常時内容が確認できるよう対応している。

2. 第2期中期目標期間における教育・研究の実績報告書について

鎌土委員から、資料2に基づき説明があった。

また、本報告書については6月30日までに文部科学省へ提出するため、それまでに修正、追記事項等が生じた場合は、学長に一任願いたい旨の説明が併せてあり、これを了承した上で審議の結果、本件を承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。

○学生の質保証の観点からGPA制度については、積極的に実施していく必要がある。

3. 平成27年度決算について

妹尾総務部長から資料3-1から3-4に基づき説明があった。

引き続き、滝上監事から資料3-5に基づき、会計監査人及び監事による監査を実施した結果、財務諸表等について適正なものと認めた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。

○人件費比率の経年推移はどのようになっているか。

●法人化当初の人件費比率は67.4%、今年度においては50%であり、減少傾向となっている。

4. 平成29年度概算要求について

横山委員から資料4に基づき説明があった。

なお、運営費交付金の概算要求については、機能強化構想に基づき進めていく方針であり、詳細の内容については、学長に一任願いたい旨の説明が併せてあり、これを了承した上で審議の結果、本件を承認した。

5. 経営系専門職大学院認証評価に係る追評価について

三上委員から資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1 第2期中期目標期間の教育研究評価実績報告書（研究業績説明書）の追加について

鎌土委員から資料6に基づき、報告があった。